

平成30年度前期 学群教育改善計画

学群(学部)名	看護学群
学群(学部)長名	原 玲子

1-(1). 授業評価アンケート結果を踏まえ、学群で改善すべき重点課題とその理由について3つ挙げてください。

※なお、前回から継続して同様の課題を記載する場合は、冒頭に「継続」と記載してください。

①	課題	理解が難しい専門科目等は、事前・事後学習の方法や授業中に集中する方法が工夫されている。しかし、学生からは「課題が多すぎる」「作業になってしまっている」レポート課題により事前学習していても、それを事前学習とは理解していない等のレスポンスがあり、事前学習、事後学習のさらなる工夫をしながら、学生に意識付けする必要がある
	理由	授業内容を理解し、知識を習得していく過程で、学生が自ら、事前・事後学修は必要と認識することが重要である
②	課題	評価方法として、ルーブリックについて、今年度学群FD(8月)で検討した。前期の科目の反映はこれからと思われるが、引き続き検討が必要である。
	理由	事前学修～授業～事後学修～試験等の一連の流れの中で、評価方法を示すことは、学生が授業内容の理解を深める上でも、教授する教員にとっても共通理解するために重要である。
③	課題	PC必携化を踏まえて、電子教科書を使用した科目に対し、学生から「毎回PCを開けるのが面倒」「講義の受けにくさ」が挙げられていた。PCを活用できる学生を育成したいが、習慣になっていないこともあり、強化が必要である。
	理由	看護は、急激に、ICTが進んでおり、PCの必携を機会に、ICT教育を充実させる必要がある。

1-(2). 上記のそれぞれの課題を解決するための取組と、それらの取組を具体的にどのように進めていくか書いてください。

①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前・事後学修については、引き続きの課題である。今期は「講義最初の到達目標提示」「小テスト」「レポート」「課題の提示」等の工夫がされていた。各科目において、事前・事後学修をどのように行っているのか、その方法をどのように評価しているのか等の情報を共有し、FD等を通して、効果的な方策を検討する。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護学群の将来構想として、地域包括ケアを推進できるナースの育成をめざしている。PC必携を契機に、道具および学生の能力を引き出すようなカリキュラムについて検討する。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・ コモンズ等の整備に伴い、講義室の視聴覚の工事も行われ、これまでの「スクリーンに見にくさ」等が、解消されると期待したが、ホワイトボードに映る映像は、鮮明さが低下し、画面に切れ目が入り、逆に「見難い」状況が発生している。授業進行において重要なことなので、ハードの側面について検討をいただきたい。

2-(1). 各科目の授業改善計画から、授業実施・授業改善の良い事例を挙げてください。

- ・ 授業のはじめに、「小テスト」を行い、そのことが、事後学修の動機付けになり、事前学修にも反映されていた。
- ・ Moodle を利用して、講義資料を事前に配布し、演習課題は事後に提示している。
- ・ 学生には不満な側面もあったが、電子許可書を使用している授業の展開を行っておりPCの活用の促進になる

2-(2). 上記の事例を学群の中でどのように共有して教育改善につなげていくか書いてください。

- ・ 教員会議で紹介し、情報を共有する。
- ・ 看護学群のFD、将来構想検討チームの活動を通して、事前・事後学修時間の確保を促進する方法、ICTを強化したカリキュラム等について検討を進める。